

平成24年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	東日本大震災からの復興状況の把握に関する調査・分析事業		担当部局	復興庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	統括官付参事官(調査担当)		参事官 岡朋史	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国的・広域的な視点から客観的なデータに基づき被災地の復興状況の実態を把握することによって、被災地を支援する長期的・大局的な復興政策に向けた材料とすることを目的とする。尚、結果はHPへの掲載等により広く情報提供することで、正確な情報について人々の認識の共有を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>統計データの分析等を通じた復興状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 統計データを通じて復興状況の実態を把握するため、復興状況の把握に有用と考えられる各種客観指標について、全国及び被災地域の統計データを収集、整理。 ○ その際、各統計データの収集可能性や特性を踏まえつつ、被災3県全体、各県、沿岸部といった地域ごとの状況、復旧、復興の各段階における状況等を、時系列での把握及び被災地以外の地域との比較により、数値の変化として把握。 ○ 上記統計データの内容より、現地の実態もふまえつつ、複合的に復興状況を分析。また、有識者による専門的な知見から、客観的に復興状況を評価。 <p>効果的な情報提供のためのデータ加工</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復興の進捗状況について、地域間差及び時系列の変化等を分かり易く視覚化し、情報提供を行うため、上記において作成した各種データを、ビジュアル等を用いて加工する事で、復興状況を見える化。 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					15
		補正予算					
		繰越し等					
		計					
		執行額					
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は復興状況を把握するための調査・分析を行うものであり、その効果を定量的に示す指標を設定することはできない。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は復興状況を把握するための調査・分析を行うものであり、その効果を定量的に示す指標を設定することはできない。		活動実績(当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	東日本大震災からの復興状況の把握に関する調査・分析事業		15				
	計		15				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国としてリアルタイムで復興状況に関するデータを把握する必要があり、また復興という観点から横断的・体系的にデータを把握する必要があるため、国において本事業を行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		復興という観点から横断的・体系的にデータを把握し、長期的・大局的な復興政策に向けた材料とすることを目的とするものであり、復興支援のために必要な経費である。	
予算監視・効率化チームの所見			
		収集・把握したデータが今後の復興施策に活用されるよう、効率的・効果的な事業の実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	